

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：32612

研究種目：基盤研究(B)（一般）

研究期間：2019～2022

課題番号：19H01248

研究課題名（和文）社会主義文化のグローバルな伝播と越境 「東」の公式文化と「西」の左翼文化

研究課題名（英文）Global and Transboundary Propagation of Socialist Cultures: Official Culture of the "East" and Leftist Culture of the "West"

研究代表者

越野 剛 (Koshino, Go)

慶應義塾大学・文学部（日吉）・准教授

研究者番号：90513242

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 12,600,000 円

研究成果の概要（和文）：20世紀において社会主義文化が国境を越えて複数の地域に伝播していった過程を、複数の地域研究者・文学研究者の協力によって比較研究した。一方では旧ソ連・中東欧・中国・ベトナム・キューバなどの社会主義国（いわゆる東側）の公式文化、他方では日本・西欧・アメリカなど（いわゆる西側）における左翼文化の双方を視野に入れることによって、伝播の過程の複雑な全体像を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

複数の言語文化をまたがる社会主義文化の伝播のネットワークを明らかにすることで、国別の「国民国家」的な文学研究や二国間の比較研究に新しい知見をもたらし、グローバルな世界文学研究に対してもオルタナティブな文脈（紅い世界文学）を提示することが可能になる。現代の日本におけるプロレタリア文学の再評価、新興国やグローバルサウスにおける社会主義文化へのノスタルジーといった現象を理解する枠組みを提供することもできる。

研究成果の概要（英文）：A comparative study of the process by which socialist culture crossed national borders and spread to multiple regions in the 20th century was conducted through the cooperation of scholars of culture and area studies in our research project. By looking at the official culture of socialist countries such as the former Soviet Union, Central and Eastern Europe, China, Vietnam, and Cuba (the so-called East) on the one hand, and leftist culture in Japan, Western Europe, and the United States (the so-called West) on the other, a complex overall picture of the transboundary process was revealed.

研究分野：ロシア文学・文化史

キーワード：社会主義 比較文化 翻訳・翻案 人の移動 記憶・ノスタルジー

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

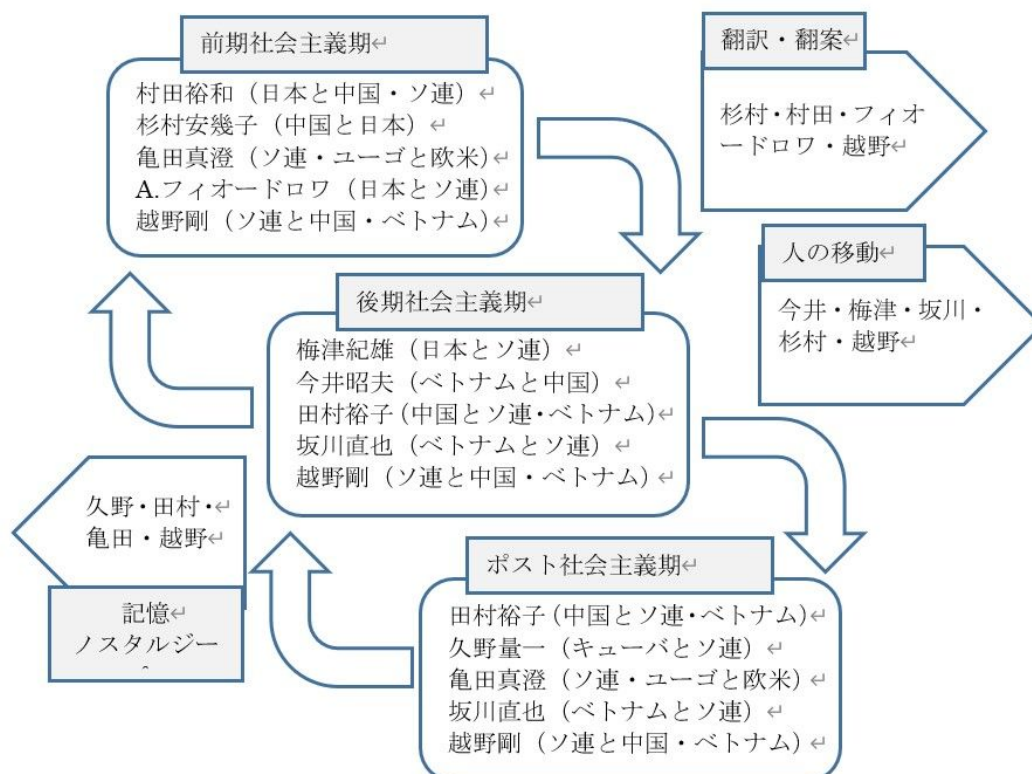
ソ連解体と冷戦終了から三十年近い期間が過ぎ、社会主義体制内の公式文化をそのイデオロギーやプロパガンダという側面を含めて一定の距離をおいて研究することが可能になった。カテリーナ・クラークからアレクセイ・コルチャクにいたるソ連文化研究をはじめ、中国、ベトナム、キューバはどの公式文化についても個別の優れた研究が発表されている。比較文化的な研究では、エリザベス・マクガイアのような中ソ間の比較研究はかなり進んでいるが、本来は「インターナショナル」な性格を持つ社会主義の革命文化のグローバルな伝播についてはまだ未知の領域が残されている。研究代表者・分担者が中心になって組織した研究集会「紅い星に願いを：社会主義文化の伝播と比較」(2016年8月20-21日、北海道大学)が本研究の出発点となった。

2. 研究の目的

20世紀のグローバルとローカルの双方の文脈において社会主義文化がどのような役割を果たしたのかを明らかにする。ひとつの言語文化や国家の領域にとどまらず、複数の地域をまたいだ文化の伝播のプロセスに着目する。地域固有の文化が社会主義を通じて近代化する過程(グローバル)と逆に社会主義的な文化が受容される際に土着化する過程(ローカル)の双方を視野に入れる。最終的には、社会主義文化を背景とした「紅い世界文学」の存在を浮かび上がらせることを目的とした。

3. 研究の方法

20世紀の社会主義文化のグローバルな展開を、前期社会主義(1910~40年代)、後期社会主義(1950~80年代)、ポスト社会主義(1990年代~現代)の三つの時期に分類して、それぞれの時期における社会主義文化の伝播や影響関係を明らかにする。ただしこの時期区分はソ連のケースに基づいているため、その他の地域には必ずしも当てはまらない。そのような不一致、つまり革命への熱狂の度合いの地域による時間差が、同じ物語の受容を促進したり逆に反発を招いたり、あるいは意味の変容をもたらした点に着目する。地域間の伝播を比較する際に具体的なテーマとして、翻訳・翻案研究、人の移動、ノスタルジーと記憶の三つを設定する。三つの時代区分、三つのテーマそれぞれ複数の研究分担者による小グループを作り、地域をまたいだ共同研究を進める。



(1) 翻訳・翻案研究

革命を題材にした文学作品や言説が言語文化的境界を越えて伝播する過程、翻訳先での歴史的・政治的文脈による意味の変容を、複数地域を比較しながら明らかにする。対象地域の多くにおいては社会主義文化の受容が植民地解放や近代化(社会主義的近代化)と結びついていたことも考慮する。映画、舞台芸術、美術、漫画・連環画などの視覚メディアの翻案も重要である。

(2) 人の移動

革命家、知識人、芸術家、留学生の国境を越えた移動を通じて社会主義文化の伝播を比較研究する。前期社会主義期のベルリンやモスクワが果たした革命文化の発信地としての役割、日本と中国・朝鮮など東アジアの革命運動の関係などに着目する。後期社会主義期におけるモスクワ、北京、ハバナなどにおける、社会主義圏(東側)や後進地域(南側)からの留学を通じた人の移動の拠点としての機能を比較研究する。日本や欧米(西側)の知識人の社会主義圏への旅行や人的交流にも着目する。

(3) ノスタルジーと記憶

社会主義文化において、革命以前の過去の政治革命、農民反乱、労働運動などの記憶が伝えられるプロセスを複数の地域をとりあげて比較研究する。前期社会主義期から後期社会主義期にかけての意味の変容や主題の取捨選択に注意を向ける。ポスト社会主義期における社会主義文化のノスタルジーという現象についても、ソ連・東欧に関するスヴェトラナ・ポイムの古典的な研究を参照しながら、より広い地域を対象にして研究を進める。とりわけ(1)の翻訳・翻案研究と関連付けて、過去の革命文学・映画作品の現代におけるリメイクに着目する。

4. 研究成果

(1) 国際研究集会

コロナ感染症の流行により対面での研究集会の開催は難しい時期が続いたが、2022年7月30-31日には立命館大学で国際シンポジウム「吼えるアジア:東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転 1920-30年代」を開催することができた。企画・運営は村田、越野、田村が分担し、杉村は「語らぬ少女の語るもの一楊振声「搶親」と『独立評論』」、亀田が「トレチャコフ『デン・シーファ』における共感の問題」というタイトルで研究報告を行った。15本の報告のうち5名は国外からの参加だった。ドイツと日本を移動し東アジアの革命芸術に影響を与えた村山知義、ドイツ、ソ連、中国を移動したセルゲイ・トレチャコフをそれぞれ取りあげた「人の移動」をテーマにした二つのセッション、ソ連・東欧と東アジアの間の「翻訳・翻案」の問題を扱うセッションをそれぞれ組織することができた。2023年3月29日にプリンストン大学のサイモン・モリソン教授を招いて「プロコフィエフの(特にソ連時代の)バレエと、彼の意図の復元という問題」という特別講演を行い、それと合わせて社会主義圏の音楽文化に関するシンポジウムを開催した。梅津は「ソ連音楽におけるオペラと文化統制の実際:《ムツェンスク郡のマクベス夫人》復権を中心に」、越野は「中国におけるバレエのイメージ:『白鳥の湖』と『1918年のレーニン』」という研究報告を行った他、3名の専門家がソ連やベトナムの音楽芸術と社会主義の関係について報告を行った。その他にも、2022年5月7日に慶應義塾大学でパリ第3大学のクリスチャン・フェイゲルソン教授を招いて、ソ連と中国の記録映画に関する特別講演を開催した。2022年8月5日にはイレーネ・グティエレス監督のトークと質疑を含むキューバ映画「犬と狼のあいだで」の上映会を東京外国語大学で開催した。

(2) 学会のパネル参加

2019年6月に東京大学で開催されたスラヴ・ユーラシア研究東アジア学会に東アジア(中国、日本、台湾)におけるソ連映画の影響というテーマでパネル参加した。越野と田村は共同発表でソ連映画『1918年のレーニン』とバレエ『白鳥の湖』の中国での影響について報告した。

同年11月には慶應義塾大学で開催されたロシア・東欧学会研究大会の共通論題「ユーラシアにおける地域秩序の変動:ロシア・東欧とアジアからのインパクト」歴史・文化編を社会主義文化と人の移動というテーマで組織した。中国のバレエダンサー白淑湘について報告した田村の他、2人の専門家がアルジェリアの作家カテブ・ヤシン、ポーランドの民俗学者プロニスワフ・ピウスツキをそれぞれ取りあげ、ヨーロッパ、ソ連から東アジアにまたがる彼らの移動と社会主義文化の伝播について報告を行い、越野が討論者の役割を果たした。

2020年には8-9月開催のアジア研究協会 AAS 神戸大会に「東アジアにおけるソ連の社会主義視覚文化 ジェンダー化された身体と越境するプロパガンダ」というテーマでパネル申請したが、コロナ感染拡大により全面オンライン開催となったため、同年11月の日本ロシア文学会のワークショップでの発表に変えた(ただしこちらも結局オンライン開催になった)。ソ連の映画や舞台芸術が日本や中国の社会主義文化にもたらした多面的な影響についてジェンダーと身体という観点を共有する三つの報告が行われた。

(3) 社会主義リアリズム文学研究会

本研究メンバー外の研究者も加えて社会主義リアリズム文学研究会を企画し、4回の研究集

会（2021年4月、2021年8月、2021年11月、2022年5月）を開催し、12名の報告を行った。越野はニコライ・オストロフスキー『鋼鉄はいかに鍛えられたか』というソ連の社会主義リアリズム文学の古典の中国における受容、連環画や映画への翻案について、田村はやはり中国の社会主義プロパガンダ文学の古典、馮徳英『苦菜花』における母親のイメージについて報告を行い、今井は「ベトナムの文学史における社会主義文学」、久野は「キューバの社会主義文学」というタイトルでそれぞれの地域の社会主義文学の歴史と特徴について発表した。他にも中国文学、中国モンゴル族の文学、ロシア文学、ベトナム文学、ドイツ文学、日本プロレタリア文学の専門家による報告が行われている。1回目は全面オンラインだったが、それ以後はハイブリッド開催となり、様々な分野の専門家との意見交換が可能となった。

（4）出版

2022年7月に開催した国際シンポジウム「吼えるアジア：東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転 1920-30年代」の研究成果を森話社から書籍として出版する作業が進行中である。すでに原稿は集まっており、2024年度中には刊行される予定。ミネルヴァ書房から刊行された書籍『中国文学をつまみ食い 『詩経』から『三体』まで』（2022年2月）に越野がロシア文学における中国像に関する文章を、同様に『ロシア文学からの旅：交錯する人と言葉』（2022年5月）に久野がキューバ文学とロシア文学の関係に関する論考を載せるといった領域横断的な試みがなされたのも本研究の成果のひとつといえる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計31件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 11件）

1. 著者名 久野量一	4. 巻 1187
2. 論文標題 キューバの文芸誌にみる「アフリカ」－翻訳と脱植民地主義	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 思想	6. 最初と最後の頁 194-208
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 亀田真澄	4. 巻 23
2. 論文標題 Mass Empathy in New Deal and Stalinist Propaganda: The Path to Victimhood Culture	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Interface: Journal of European Languages and Literatures	6. 最初と最後の頁 17-44
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 亀田真澄	4. 巻 45
2. 論文標題 共感の痕跡 - ユーゴスラヴィアにおける帰属感のプロパガンダ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 東欧史研究	6. 最初と最後の頁 77-85
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村田裕和	4. 巻 88
2. 論文標題 転形期のサウンドスケーププロレタリア文学における 騒音の階級性	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 24-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村田裕和	4. 巻 61
2. 論文標題 アナキズム詩の地方ネットワーク(2) - 『弾道』『北緯五十度』論争における 生活と詩 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 語学文学	6. 最初と最後の頁 28-37
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 村田裕和	4. 巻 71
2. 論文標題 長谷川四郎『シベリヤ物語』論 - ドゥシェグーブカの記憶 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本文学	6. 最初と最後の頁 12-21
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 楊顕恵、田村容子	4. 巻 30
2. 論文標題 李祥年のラブストーリー - 楊顕恵『夾辺溝記事』抄訳	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 饗饗	6. 最初と最後の頁 192-226
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 越野剛	4. 巻 14
2. 論文標題 アレシ・アダモーヴィチとドストエフスキー: 独ソ戦争と古典文学の対話	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 上智ヨーロッパ研究	6. 最初と最後の頁 43-57
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 越野剛	4. 巻 43
2. 論文標題 Ukraine and War in Russian-Language Literature	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Slavic and East European Studies	6. 最初と最後の頁 1 - 12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5823/jsees.43.0_1	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 越野剛	4. 巻 54
2. 論文標題 ベラルーシの作家としてのアレクシエーヴィチとロシア語	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 70-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村 安幾子	4. 巻 72
2. 論文標題 楊振声「荒島上の故事」における自死する少女	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本女子大学紀要. 文学部 = Journal. Faculty of Humanities	6. 最初と最後の頁 55-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.57483/00003614	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 杉村 安幾子	4. 巻 73
2. 論文標題 不幸を嘆く女たち 予且「浅水姑娘」試論	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 日本女子大学紀要. 文学部 = Journal. Faculty of Humanities	6. 最初と最後の頁 115-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梅津紀雄	4. 巻 特別号
2. 論文標題 ウクライナ戦争とロシアのクラシック音楽界の現在：二重の踏み絵 は新たな鉄のカーテンか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 チェマダン特別号	6. 最初と最後の頁 54-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 梅津紀雄、吉田司雄	4. 巻 61-2
2. 論文標題 ソ連作家同盟外国委員会での日本文学界についての徳永直・岩上順一との懇談記録	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 工学院大学研究論叢	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.57377/0002000331	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田村容子	4. 巻 29
2. 論文標題 中華人民共和国建国後のバレエ・舞劇単調査 ソ連のバレエと北京舞蹈学校	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 饗餐	6. 最初と最後の頁 69-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村容子	4. 巻 10
2. 論文標題 となりのソ連人 中ソ友好連環画の「家族」たち	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 連環画研究	6. 最初と最後の頁 34-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 40
2. 論文標題 「美貌」というスティグマ 徐Xu『風蕭蕭』における美女表象	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学中国文学会報	6. 最初と最後の頁 27-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 71
2. 論文標題 徐Xu「幻覚」試論 無名氏作品との関わりで見る感傷に浸る男たち・葬り去られる女たち	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 95-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 坂川直也	4. 巻 8
2. 論文標題 魏徳聖における日本統治時代のエンタメ化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 254-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂川直也	4. 巻 4月27日配信
2. 論文標題 ひろがりアジア (6) 「人の禪で相撲を取る」 新型コロナウイルスをめぐるベトナムの宣伝工作	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 WEBゲンロン	6. 最初と最後の頁 なし
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 梅津紀雄, 半谷史郎	4. 巻 59(1)
2. 論文標題 第3回国際青年友好スポーツ大会にみる雪解け期の日ソ・スポーツ交流 : あるレスリング選手のソ連体験	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 工学院大学研究論	6. 最初と最後の頁 81-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村容子, 越野剛	4. 巻 28
2. 論文標題 中国映画における『白鳥の湖』の受容と変奏	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 饗餐	6. 最初と最後の頁 114-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村田裕和	4. 巻 23
2. 論文標題 托卵の思想 : 有島武郎「死と其前後」から秋田雨雀「幼児の殺戮時代」まで	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 有島武郎研究	6. 最初と最後の頁 33-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田村容子, 越野剛	4. 巻 28
2. 論文標題 中国映画における『白鳥の湖』の受容と変奏	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 饗餐	6. 最初と最後の頁 114-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村容子	4. 巻 10
2. 論文標題 となりのソ連人—中ソ友好連環画の「家族」たち	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 連環画研究	6. 最初と最後の頁 34-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村容子	4. 巻 29
2. 論文標題 中華人民共和国建国後のバレエ・舞劇単調査—ソ連のバレエと北京舞蹈学校	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 饕餮	6. 最初と最後の頁 69-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂川直也	4. 巻 53 (9)
2. 論文標題 魏徳聖における日本統治時代のエンタメ化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ユリイカ	6. 最初と最後の頁 254-261
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梅津紀雄, 半谷史郎	4. 巻 59 (1)
2. 論文標題 第3回国際青年友好スポーツ大会にみる雪解け期の日ソ・スポーツ交流 : あるレスリング選手のソ連体験	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 工学院大学研究論叢	6. 最初と最後の頁 81-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 40
2. 論文標題 「美貌」というスティグマ 徐Xu『風蕭蕭』における美女表象	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 お茶の水女子大学中国文学会報	6. 最初と最後の頁 27-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 71
2. 論文標題 徐Xu「幻覚」試論 無名氏作品との関わりで見える感傷に浸る男たち・葬り去られる女たち	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本女子大学文学部紀要	6. 最初と最後の頁 95-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉村安幾子	4. 巻 24
2. 論文標題 徐Xu「歌楽山的笑容」試論 “鬼故事” に仮託されたもの	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 金沢大学国際基幹教育院外国語教育系紀要	6. 最初と最後の頁 103-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計44件（うち招待講演 6件 / うち国際学会 11件）

1. 発表者名 亀田真澄
2. 発表標題 The Problem of Empathy in Tretiakov's Den Shi-khua
3. 学会等名 International Symposium "Roar Asia! Proletarian Art and Literature in East Asia and 吼えるアジア : 東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転 1920-30年代 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉村安幾子
2. 発表標題 語らぬ少女の語るもの 楊振声「搶親」と『独立評論』
3. 学会等名 吼えるアジア : 東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転 1920-30年代 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 亀田真澄
2. 発表標題 共感の痕跡 ユーゴスラヴィアにおける帰属感のプロパガンダ
3. 学会等名 東欧史研究会小シンポジウム「社会主義的人間を求めて 第二次世界大戦後の東欧における社会主義をめぐる諸相」(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村容子、越野剛
2. 発表標題 楊韜氏報告「近代上海における外国映画上映騒動の考察：ソ連映画『アピンニア』を例に」 コメント
3. 学会等名 京都大学人文科学研究所「20世紀中国史の資料的復元」共同研究班
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 馮徳英『苦菜花』 1950年代中国社会主義プロパガンダ文学における母親像
3. 学会等名 第5回社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 紅い世界文学と『鋼鉄はいかに鍛えられたか』
3. 学会等名 第5回社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 革命現代芭蕾舞劇中の女性形象：重構の家庭和母親の缺位
3. 学会等名 「跨文化對話、協商與現代性：現當代華文文學與文化」國際學術研討會（香港中文大學、ハイフレックス）（國際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 梅津紀雄
2. 発表標題 The Opera in the Soviet Music and the Cultural Control in Practice: The Rehabilitation of Lady Macbeth of the Mtsensk
3. 学会等名 Symposium with Prof. Simon Morrison's Special Lecture: Music Theater Under Socialism (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 Image of Ballet in China: Swan Lake and Lenin in 1918
3. 学会等名 Symposium with Prof. Simon Morrison's Special Lecture: Music Theater Under Socialism (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 ロシアが夢見た中国
3. 学会等名 北海道大学文学部中国文学研究室講義「中国文学探検行」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 セルゲイ・トレチャコフと中国：政治と芸術の革命
3. 学会等名 世界文学・語圏横断ネットワーク 第 16 回研究集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 ソ連における原爆文学の受容とSFの原爆表象
3. 学会等名 日本比較文学学会全国大会シンポジウム「原爆表象の受容と記憶の継承 冷戦期の東ヨーロッパを中心に」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 " (東アジアにおける『鋼鉄はいかに鍛えられたか』)
3. 学会等名 International Conference "The Reception of East Slavic Literatures in the West and the East" (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 梅村博昭、越野剛
2. 発表標題 偽の宇宙開発：カーツ『ソヴィエト・ファンタステチカの歴史』と映画『ファースト・オン・ザ・ムーン』
3. 学会等名 共産圏アニメSF研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 梅津紀雄
2. 発表標題 クロイツァー：帝政ロシア出身のユダヤ系音楽家と日本
3. 学会等名 日露交流史研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 社会主義リアリズムとソ連のSF カザンツェフを中心に
3. 学会等名 日本スラヴ学研究会シンポジウム「スラヴ世界のSF K.チャペック『ロボット』初演100周年によせて」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 亀田真澄
2. 発表標題 'The Entire Country is Watching!': Propaganda of Simultaneity in the 1930s Soviet Union
3. 学会等名 ICCEES 10th World Congress (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 今井昭夫
2. 発表標題 ベトナム文学史における社会主義文学
3. 学会等名 第3回社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田村容子、越野剛
2. 発表標題 パレエのイメージと女性の身体：ソ連映画『1918年のレーニン』の中国における受容
3. 学会等名 日本ロシア文学会全国大会ワークショップ「東アジアにおけるソ連の社会主義視覚文化 ジェンダー化された身体と越境するプロパガンダ」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 映画『太陽の少年』と王朔の小説『動物凶猛』、『看上去很美』をめぐって
3. 学会等名 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部「メディア間翻訳・翻案研究：文学テキストの映像化・舞台化(3)」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 映画『太陽の少年(陽光燦爛的日子)』とソ連の記憶
3. 学会等名 東京外国語大学大学院博士前期課程ダブルディグリープログラム「公共圏における歴史(HIPS)」オンライン・レクチャー「視覚化された革命の記憶」(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 セルゲイ・トレチャコフと中国：過去と未来、東洋と西洋
3. 学会等名 モダニズム研究会キックオフミーティング 「モダニズムとプロレタリア革命文化の結合と分節」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 杉村安幾子
2. 発表標題 物語の背後にあるもの 歴史的事実から虚構へ
3. 学会等名 第59回日本女子大学史学研究会大会講演
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 久野量一
2. 発表標題 キューバの社会主義文学
3. 学会等名 第2回社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田村容子、越野剛
2. 発表標題 Images of Ballet and Female Body: Chinese Acceptance of the Soviet Film
3. 学会等名 The 10th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 Revolutionary Drama in Belarus and Ukraine
3. 学会等名 International conference “The Dynamics of Cultural Processes between Center and Periphery” (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 ヴァシリイ・アジャエフ『モスクワを遠く離れて』
3. 学会等名 第1回社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 セルゲイ・トレチャコフと中国：過去と未来、東洋と西洋
3. 学会等名 モダニズム研究会キックオフミーティング 「モダニズムとプロレタリア革命文化の結合と分節」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村容子、越野剛
2. 発表標題 バレエのイメージと女性の身体：ソ連映画『1918年のレーニン』の中国における受容
3. 学会等名 日本ロシア文学会ワークショップ「東アジアにおけるソ連の 社会主義視覚文化 ジェンダー化された身体と越 境するプロパガンダ」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 越野剛
2. 発表標題 社会主義リアリズムとソ連のSF カザンツェフを中心に
3. 学会等名 日本スラヴ学研究会シンポジウム「スラヴ世界のSF K.チャペック『ロボット』初演100周年によせて」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 羅広斌・楊益言『紅岩』中国社会主義プロパガンダ芸術における「母性」の表象
3. 学会等名 第1回社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 中華人民共和国における『白鳥の湖』 白淑湘の踊った白鳥と『紅色娘子軍』
3. 学会等名 ロシア・東欧学会2019年度研究大会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 映画『太陽の少年』と王朔の小説『動物凶猛』、『看上去很美』をめぐって
3. 学会等名 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部「メディア間翻訳・翻案研究：文学テキストの映像化・舞台化」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 田村容子
2. 発表標題 映画『太陽の少年（陽光燦爛的日子）』とソ連の記憶
3. 学会等名 東京外国語大学大学院博士前期課程ダブルディグリープログラム「公共圏における歴史（HIPS）」オンライン・レクチャー「視覚化された革命の記憶」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 今井昭夫
2. 発表標題 ベトナム文学史における社会主義文学
3. 学会等名 第3回社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 久野量一
2. 発表標題 キューバの社会主義文学
3. 学会等名 第2回社会主義リアリズム文学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 坂川直也
2. 発表標題 ベトナム映画史～南北の歴史から紐解く～
3. 学会等名 日本映像学会アジア映画研究会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坂川直也
2. 発表標題 ベトナム映画の現在形～女性・インディペンデント・韓流～
3. 学会等名 日本ベトナム研究者会議（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 八木君人、梅津紀雄、伊藤愉、大平陽一、安達大輔
2. 発表標題 ワークショップ「ロシア・アヴァンギャルドのサウンドスケープ」
3. 学会等名 日本ロシア文学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 亀田真澄
2. 発表標題 Manufacturing Empathy: Looking at Poverty in the 1930 's U.S. and Soviet Union
3. 学会等名 51st Annual Convention of the Association for Slavic, East European And Eurasian Studies (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村田裕和
2. 発表標題 ドゥシェグープカの記憶：長谷川四郎『シベリヤ物語』と戦後日本
3. 学会等名 第6回 比較文学研究会（日本比較文学会 北海道支部・東北支部）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 村田裕和
2. 発表標題 日本文学史の脱カノン化とその課題：プロレタリア文化運動と国民国家
3. 学会等名 非西欧社会における近代化の再考 日本(東アジア)・エジプト(アラブ)をモデルに【第2回】(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 梅津紀雄
2. 発表標題 「ウクライナ情勢：文化面での反応」：音楽
3. 学会等名 SRC 緊急セミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉村安幾子
2. 発表標題 物語の背後にあるもの 歴史的事実から虚構へ
3. 学会等名 第59回日本女子大学史学研究会大会講演
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計30件

1. 著者名 久レオナルド・パドゥーラ, 久野量一	4. 発行年 2022年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 490
3. 書名 わが人生の小説	

1. 著者名 亀田真澄	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 224
3. 書名 マス・エンパシーの文化史	

1. 著者名 内藤由直, 中川成美, 村田裕和, 林淑美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 公益財団法人日本近代文学館	5. 総ページ数 32
3. 書名 プロレタリア文化運動の光芒	

1. 著者名 アリス・ポータ、岩井 智子、岩井 方男、越野 剛	4. 発行年 2023年
2. 出版社 春秋社	5. 総ページ数 332
3. 書名 女たちのベラルーシ : 革命、勇気、自由の希求	

1. 著者名 岩本和久、鴻野わか菜、越野剛、高柳聡子、松下隆志、他27名	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東洋書店新社	5. 総ページ数 376
3. 書名 現代ロシア文学入門	

1. 著者名 中村唯史、坂庭淳史、小椋彩、久野量一、越野剛、他65名	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ出版	5. 総ページ数 256
3. 書名 ロシア文学からの旅：交錯する人と言葉	

1. 著者名 村田真一、Stefan Aloe、越野剛、他18名	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Firenze University Press	5. 総ページ数 322
3. 書名 The Reception of East Slavic Literatures in the West and the East	

1. 著者名 ファン・ダン・ティン、チュオン・ティ・ホア、今井昭夫	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ビスタ ビー・エス	5. 総ページ数 310
3. 書名 ベトナム立憲史	

1. 著者名 岩井美佐紀、坂川直也、他55名	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 440
3. 書名 現代ベトナムを知るための63章【第3版】	

1. 著者名 武田雅哉、加部勇一郎、田村容子、越野剛他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 266
3. 書名 中国文学をつまみ食い 『詩経』から『三体』まで	

1. 著者名 Yaraslava Ananka, Heinrich Kirschbaum, Magdalena Marszalek, Marion Rutz, Simon Lewis, Christof Schimsheimer, Gun-Britt Kohler, Go Koshino, Manuel Ghilarducci Ghetto, Nina Weller, Paval Kascjukevic	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Harrassowitz Verlag	5. 総ページ数 249
3. 書名 Heu auf dem Asphalt: Topoi belarussischer Selbstverortungen	

1. 著者名 日下渉、青山薫、伊賀司、田村慶子、今村真央、坂川直也、岡本正明、宮脇聡史、日向伸介、小田なら、大村優介、小島敬裕、新ヶ江章友、初鹿野直美、北村由美	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 東南アジアと「LGBT」の政治	

1. 著者名 沼野充義、沼野恭子、平松潤奈、乗松亨平、梅津紀雄、越野剛他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 ロシア文化 55のキーワード	

1. 著者名 Irena Hayter, George T. Sipos, Mark Williams, Hirokazu Murata他	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 290
3. 書名 Tenko: Cultures of Political Conversion in Transwar Japan	

1. 著者名 赤松美和子、阿部沙織、石井洋美、尹鳳先、大塚ゆう美、河村昌子、木谷富士子、小林さつき、子安加余子、迫田博子、杉村安幾子、鈴木直子、館けさみ、但継紅、天神裕子、新沼雅代、西野由希子、西端彩、范文玲、布施直子、宮本めぐみ	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 456
3. 書名 文学の力、語りの挑戦 中国近現代文学論集	

1. 著者名 神谷まり子、大東和重、齊藤大紀、福長悠、中野徹、中村みどり、田中雄大、城山拓也、杉村安幾子、中野知洋、池田智恵、奥野行伸、大野陽介、松村志乃、高橋俊	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中国文庫	5. 総ページ数 450
3. 書名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	

1. 著者名 武内房司、今井昭夫、小武海櫻子、持田洋平	4. 発行年 2021年
2. 出版社 研文出版	5. 総ページ数 266
3. 書名 中国近代の民衆宗教と東南アジア	

1. 著者名 越野 剛、高山 陽子、田村容子、今井昭夫、前田しほ、福田宏、向後恵里子、平松潤奈	4. 発行年 2019年
2. 出版社 北海道大学出版会	5. 総ページ数 250
3. 書名 紅い戦争のメモリースケープ：旧ソ連・東欧・中国・ベトナム.	

1. 著者名 Mikhail Suslov, Per-Arne Bodin, Go Koshino, Maria Galina, Maria Engstrom, Muireann Maguire, Andrei Rogatchevski, Anastasia V. Mitrofanova, Viktor Shnirel'man, Ingunn Lunde, Lara Ryazanova-Clarke, Edith W. Clowes, Sofya Khagi, Mark Lipovetsky	4. 発行年 2019年
2. 出版社 I. B. Tauris	5. 総ページ数 362
3. 書名 The Post-Soviet Politics of Utopia Language, Fiction and Fantasy in Modern Russia	

1. 著者名 井上暁子、三谷研爾、阿部賢一、藤田恭子、越野剛	4. 発行年 2020年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 256
3. 書名 東欧文学の多言語的トポス	

1. 著者名 Yaraslava Ananka, Heinrich Kirschbaum, Magdalena Marszalek, Marion Rutz, Simon Lewis, Christof Schimsheimer, Gun-Britt Kohler, Go Koshino, Manuel Ghilarducci, Nina Weller, Pavel Kascukevic	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Harrassowitz Verlag	5. 総ページ数 249
3. 書名 Heu auf dem Asphalt: Topoi belarussischer Selbstverortungen	

1. 著者名 武田 雅哉、加部 勇一郎、田村 容子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 266
3. 書名 中国文学をつまみ食い：『詩経』から『三体』まで	

1. 著者名 日下渉、青山薫、伊賀司、田村慶子、坂川直也	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 392
3. 書名 東南アジアと「LGBT」の政治	

1. 著者名 石坂健治、夏目深雪、坂川直也	4. 発行年 2019年
2. 出版社 論創社	5. 総ページ数 192
3. 書名 躍動する東南アジア映画	

1. 著者名 長塚英雄、梅津紀雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東洋書店	5. 総ページ数 487
3. 書名 続々・日露異色の群像30 文化・相互理解に尽くした人々	

1. 著者名 Irena Hayter, George T. Sipos, Mark Williams, Hirokazu Murata	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 246
3. 書名 Tenko: Cultures of Political Conversion in Transwar Japan	

1. 著者名 沼野充義、沼野恭子、平松潤奈、乗松亨平、梅津紀雄、越野剛	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 306
3. 書名 ロシア文化55のキーワード	

1. 著者名 武内房司、今井昭夫	4. 発行年 2021年
2. 出版社 研文出版	5. 総ページ数 266
3. 書名 中国近代の民衆宗教と東南アジア	

1. 著者名 宮尾正樹教授退休記念論集刊行会、杉村安幾子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東方書店	5. 総ページ数 456
3. 書名 文学の力、語りの挑戦 中国近現代文学論集	

1. 著者名 中国モダニズム研究会、杉村安幾子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中国文庫	5. 総ページ数 450
3. 書名 夜の華 中国モダニズム研究会論集	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田村 容子 (Tamura Yoko) (10434359)	北海道大学・文学研究院・准教授 (10101)	
研究分担者	村田 裕和 (Murata Hirokazu) (10449530)	北海道教育大学・教育学部・准教授 (10102)	
研究分担者	今井 昭夫 (Imai Akio) (20203284)	東京外国語大学・その他部局等・名誉教授 (12603)	
研究分担者	梅津 紀雄 (Umetsu Norio) (20323462)	工学院大学・工学部・講師 (32613)	
研究分担者	杉村 安幾子 (Sugimura Akiko) (50334793)	日本女子大学・文学部・教授 (32670)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	坂川 直也 (Sakagawa Naoya) (50849619)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・連携研究員 (14301)	
研究分担者	久野 量一 (Kuno Ryoichi) (70409340)	東京外国語大学・大学院総合国際学研究院・准教授 (12603)	
研究分担者	亀田 真澄 (Kameda Masumi) (70726679)	中京大学・国際学部・講師 (33908)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	フィオードロワ アナスタシア (Fedorova Anastasia)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 国際シンポジウム「吼えるアジア：東アジアのプロレタリア文学・芸術とその文化移転 1920-30年代」	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 社会主義と戦争の記憶：キューバ映画『犬と狼のあいだで』上映会	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 Symposium with Prof. Simon Morrison's Special Lecture: Music Theater Under Socialism	開催年 2023年～2023年
国際研究集会 Special Lecture: Cinema and Socialist Realism Its Functions in USSR and China	開催年 2022年～2022年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------